

疲れた心を優しくときほぐしてくれるお店

起業のきっかけは、アロマセラピーの取材から

企業データ

- 企業名 Mistletoe (ミスルトウ 個人事業)
- 代表者 坂井 悦子 (サカイ エツコ)
- 業種 アロマセラピー
- 創業 平成17年2月

坂井さんは、平成19年5月7日に女性専用フィットネスクラブの運営を主な業務とする「(株)リラクティブライフ」を設立し、新たな業務を展開中。

■場所 飯能市緑町22-3

■連絡先 042-974-7716

■URL ホームページ <http://relactivelife.jp>
 ブログ <http://ameblo.jp/relactivelife/>



■パーソナリティとしての取材が、アロマセラピー店開業のきっかけ

神戸市出身の坂井さんは、神戸市内で高校教諭として3年間勤務した後、ラジオパーソナリティ、米国留学、ケーブルテレビ社員などを経て、平成14年、ケーブルテレビ局に就職するため秩父市に移り住んだ。

かつての取材で興味を持ち、勉強していたアロマセラピーの店を、秩父地方で初めて、平成17年2月に開店した。

■友人から成り立たないと言われた秩父市だから成り立つと考えた

友人等からは、「アロマセラピーの店は秩父では成り立たない。せいぜい所沢までだ。」と言われたが、坂井さんは、秩父だからこそ成り立つと考えた。

人のアドバイスどおり、セオリーどおりにやろうとしたら、一歩も踏み出せない。むしろセオリーに反することを、土地柄に合わせてやっていくべきと考えた。

秩父市という立地や顧客を前提に、坂井さんなりの仮説を立て、お客さんが支払った価格以上の技術、サービス、付加価値を提供していく。自分を信じるしかない。不安はあるが、自分の考えをしっかりと持っていないと、軸がブレてしまう。考えを固めるために、埼玉県創業・ベンチャー支援センターにも相談に行った。

■店名「ミスルトウ」は、欧米では愛と平和を象徴するヤドリギ

店名のミスルトウとは、ヤドリギ（根の無い植物）のことで、坂井さん自身秩父に「根」は無いが、肩肘張らず、この地方に溶け込んでいきたいとの想いから命名した。欧米ではクリスマス飾りのイメージで、ミスルトウが寄生すると愛と平和の象徴になると言われている。

「ミスルトウ」は、アロマセラピーのトリートメントサロン。オーガニック（有機栽培）による、厳選した精油のみを使用し、人の手でトリートメントするので、血液やリンパ液の循環を高め、疲労や身体に溜まった老廃物を取り除き、深いリラックスを導いてくれる。

完全予約制でトリートメント中は、個人対応、自宅でくつろいでいる気分になる。BGMはこだわりぬいたオリジナル、よりすぐりの響きが穏やかな心へと導いてくれる。トリート

メントの後は暖かいハーブティをお出しする。ビタミン補給や利尿・消化促進効果がある。

■お客さんはほとんどが女性、1度来店したお客さんの90%はリピーターになっている

当初、自己資金の半分がなくなる半年後を、事業を継続するか廃業するかを再考するセッションと決め、上手くいった場合と最悪の場合を想定して利益計画を策定した。

初期投資は極力抑えることにした。立地は秩父市役所に隣接する貸しビルの2階、不動産会社を通さず、大家さんと直接交渉して借りたので敷金も礼金も要らず、家賃も割安だった。

初めのお客さんが来るまでが一苦勞だったが、1年が過ぎリピーターも増えてきた。来店客数は月平均40~50人、固定客も約200人になった。ほとんどが女性で、広告宣伝費を使わず100%口コミで広がった顧客だ。一度来店したお客さんの90%はリピーターになっている。

営業時間は午前11時~午後7時までだが、実際は仕事帰りのお客さんに午後8時30分頃まで対応している。1人でやっていると、1日5人が限界、今では、限界に近い状況になっている。

細々ではあるが黒字で、家賃などの経費を払い生活し勉強するには不自由しない収入にもなってきた。



■土曜には都内の女性の起業家の集まりなどに出かけ、コミュニティFM局のパーソナリティの仕事も続けている

お客さんとも顔なじみになったので、多少の事情は聞いてもらえる。あらかじめ予約を入れない日を作るなどのスケジュール管理も可能になった。

定休日の土曜には都内の女性の起業家の集まりや勉強会に出かけ、入間市のコミュニティFM局「エフエム茶笛(チャッピー)」のパーソナリティ他、熊谷市や本庄市のケーブルテレビの仕事も継続している。適度の充実感が持て、ある程度自分のペースで好きなことがやれるようになった。

■今後は、秩父の女性のネットワークや学ぶ場を作り、女性の力を生かした活動を手伝っていききたい

間もなく、今の店舗の賃貸契約が切れるが、引っ越す予定だ。商業用の貸しビルという立地は、新規立ち上げの際、人目につき認知されるために必要だった。これからは、固定客がより深くリラックスできる環境にするため、「友人の部屋に遊びに来ているような感覚」をテーマにした空間作りをしていきたい。顧客のニーズに合わせ、経費やサービス内容を検討しながら、より充実・安定させていきたいと、まだまだ勉強中。

坂井さんは、日本アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザーの資格を持ち、アロマセラピーの検定コースとして教室も開催。生徒募集に地元女性が殺到して驚いた。女性たちが何かを求めて、坂井さんのところに来る。坂井さんにとって次の責任が出てきた。

今後は、向上心の強い、秩父の女性のネットワークや学ぶ場を作り、女性の力を生かした活動を手伝っていききたい。その第一歩として、アロマの資格を取った女性たちとボディメイクスタジオなどの事業も考えている。

■ アドバイザーコメント

坂井さんは、「アロマセラピー店は秩父だからこそ成り立つ」など、ユニークで柔軟かつ前向きな発想でアロマセラピー店を運営する傍ら、アロマセラピー検定教室やコミュニティFM局のパーソナリティも手がけています。土曜日には女性起業家の集まりにも出かけ、ネットワークづくりに余念がない。働く女性のための将来構想も膨らむばかりだ。